

厚生年金制度への地方議会議員の 加入実現を求める要望

地方分権時代を迎えた今日、地方公共団体の自由度が拡大し、自主性及び自立性の高まりが求められる中、住民の代表機関である地方議会の果たすべき役割と責任は格段に重くなっております。

このため、地方議会議員の活動も幅広い分野に及ぶとともに、より積極的な活動が求められているところであります。

しかしながら、平成27年に実施された統一地方選挙において、町村では議員への立候補者が減少し、無投票当選が増加するなど、住民の関心の低下や地方議会議員のなり手不足が大きな問題となっております。

こうした中、地方議会議員を民間サラリーマン等と同様の厚生年金に加入できるようにすることは、議員を志す新たな人材確保につながるものと考えます。

つきましては、国民の幅広い政治参加や、地方議会における多様な人材確保の観点から、厚生年金への地方議会議員の加入のための法整備を今通常国会において実現いただきたく、特段のご配慮を賜りますよう強く要望いたします。

平成30年2月7日

福島県町村議会議長会

会長 村上昭正